

# 書道の部



1	対象	未就学児 ～ 高齢者までどなたでも
2	作品	半紙（半紙縦 33cm×横 24cm）
3	点数	一人一点
4	字句	学年等で指定した下記の字句 縦書き、書体は自由
5	記名	下記手本にならってください

未就学児	小学1・2年	小学3・4年	小学5・6年	中学生	高校生・一般
○ ○ ○ ○ ○ ○○○○園	○ ○小 ○年 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○小 ○年 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○小 ○年 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○中 ○年 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○高 ○年 ○ ○ ○ ○ ○
そや	三計	文治	息安 軒井	息 焉 舎 記	管子 纂 詁

## 【注】

- ・未就学児は、指導者が下部に園名を横書きで記入してください。
- ・小・中学生は名前の上に学校名・学年のみ記入してください。
- ・高校生は名前の上に学校名のみ記入してください。（学年は不要）
- ・名前は一般を含めて、雅号ではなく氏名をご記入ください。

雅号ではなく氏名を記入

## 題字の意味

- そや：清武町中野出身。安井家の分家にあたる安井朝貞の娘で、楚也。息軒の父滄洲（そうしゅう）の妻となり、母として息軒を含む3人のこどもを育てました。
- 三計：息軒が40歳の時に江戸に開いた塾の名前。「一日の計は朝（あした）にあり、一年の計は春にあり、一生の計は少壮の時にあり」の3つの計から「三計塾」と名づけました。
- 文治：息軒の心やさしい兄で、いわゆるイケメン。優秀で将来が楽しみな人物でしたが、25歳で亡くなりました。墓は清武町中野の安井家墓地にあります。
- 安井息軒：息軒の幼名は順作、諱（いみな、本名）は衡、号は半九、清流…、日頃は字（あざな）で仲平と呼ばれていました。息軒は70を過ぎてからの号です。
- 息焉舎記：迎えた幕末から明治、家族の身の危険を感じた息軒は、弟子たちの勧めに応じて領家村（今の埼玉県川口市東領家）に疎開。その間お世話になった家に「息焉舎（そくえんしゃ）」と名づけ、東領家を去る際『息焉舎記』を記しました。
- 管子纂詁：息軒は儒家のみならず法家の思想、国学、洋学…と万能の学者。息軒は国家や政治家のあり方を問う法家の思想にも精通し、極めて難解な『管子』を見事に読み解き、『管子纂詁（かんしさんご）』という素晴らしい書を著しました。